

Roborock Qrevo L

ロボット掃除機 取扱説明書

ご使用になる前に本取扱説明書をよく読み、大切に保管してください。



目次

04	安全上のご注意
06	国際記号の説明
07	製品概要
09	使用前の準備
10	アプリとの接続
11	操作方法
13	お手入れ
17	バッテリーの取り外し
17	基本仕様
18	よくあるご質問
20	お問い合わせ先と保証情報
21	保証書
22	保証規定

安全上のご注意

本書には製品を安全にお使いいただくための注意事項が記載されています。製品をご使用になる前に必ずお読みになり、注意事項を守ってご使用ください。本書はすぐに参照できるようお手元に保管してください。

誤った使い方で生じる危害や損害の程度を区分し、以下の通り説明しています。

 警告	「死亡または重傷を負う可能性がある」内容
 注意	「軽傷を負う、または物的損害を負う可能性がある」内容

以下の記号で使用上お守りいただく内容を説明しています。

 してはいけない内容	 しなければならない内容
--	--

■ 本体

警告

- ⊗ 電気カーペット、温冷送風機、フットスイッチなど床面付近に操作部がある機器の近くで使用しないでください。(誤作動の原因)
- ⊗ 周囲温度が 40℃以上または 4℃未満の環境や、トイレ、風呂場などの水回りで使用しないでください。(発熱・発火・感電の原因)
- ⊗ 乳幼児や子どもを含む、自分で意思表示できない人や、自分で操作できない人には、使用させたり遊ばせたりしないでください。(けがの原因)
- ⊗ 水洗い・水拭き可能と記載された箇所を除き、お手入れに濡れた布や液体を使用しないでください。(感電・故障の原因)
- ⊗ 本製品をろうそく、線香、たばこの火、ストーブなど火気のある場所では使用しないでください。(火災の原因)
- ⊗ 本製品を分解、修理、改造しないでください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)
- ⊗ 本製品を火気に近づけないでください。(火災の原因)
- ⊗ タバコ、マッチ、熱い灰など、燃えているものや煙が出ているものを吸い上げないでください。(火災の原因)
- ⊗ 本製品を濡らさないでください。充電端子を濡れた布や濡れた手で拭かないでください。(感電・火災の原因)
- ⊗ 灯油、アルコール、シンナー、コピー紙のトナーなど引火性のあるもの、油分や他社洗剤などは床から取り除き、吸い上げないでください。(火災の原因)
- ❗ 本製品を掃除またはメンテナンス(ダストボックス・ドックの付近の清掃を除く)する前に、電源を切ってプラグをコンセントから抜いてください。(感電・火災の原因)
- ❗ 本製品のドックは、14.4 V/5200 mAh (公称容量) リチウムイオンバッテリーを搭載した本体の充電のみ使用可能です。

注意

- ⊗ 本製品は、室内床掃除用に設計されています。屋外や、床ではない家具などの表面、商業または産業環境では使用しないでください。(破損の原因)
- ⊗ 落下防止柵のない、ロフトや家具の上などの高い場所で本製品を使用しないでください。(破損の原因)
- ⊗ 産業廃棄物、ガラス、釘などの硬いものや尖ったものの掃除に使用しないでください。(破損の原因)
- ⊗ 本体に乗ったり、重いものを乗せたり、強い衝撃を与えたりしないでください。(破損・傷つきの原因)
- ⊗ 衣服や、髪、指などの身体部位を本体の開口部、可動部、吸引口に近づけないでください。(けがの原因)
- ⊗ 本体とドックの上に座ったり、立ったりしないでください。(けがの原因)
- ⊗ 腐食や損傷を防ぐため、Roborock 指定外の洗剤、お湯、除菌剤を入れないでください。(破損の原因)
- ⊗ 階段や段差のある場所には、靴やマットなどの物を置かないでください。センサーの誤作動によって本体が転倒する可能性があります。(故障・破損の原因)
- ⊗ 本体で水を吸引させたり、水がこぼれているところで使用しないでください。(故障の原因)

- ⊗ ドックの吸引口の近くに物を置かないでください。(故障・破損の原因)
- ⊗ 本体とドックの上に子どもやペット、物を乗せないでください。カバー（防塵カバー）などをかけないでください。(けが・故障の原因)
- ⊗ エアダクトを詰まらせる可能性のある小石、紙くず、その他詰まらせる物を吸い上げないでください。(故障の原因)
- ⊗ 乳幼児や子どもが寝ている部屋で本製品を稼働させないでください。(けがの原因)
- ❗ 本製品は取扱説明書に従って使用してください。不適切な使用に起因する損失また損傷については、Roborock はその責を一切負わないものとします。
- ❗ 本製品の使用前に、他の製品のコードが掃除機によって引っ張られないよう片づけてください。(破損・傷つきの原因)
- ❗ 本製品の動作の妨げになったり、本製品が周囲の物を破損したりしないよう、掃除の前に、ビニール袋などの掃除機の吸引口に詰まる可能性のあるものや、花瓶などの壊れやすいものを床から片づけてください。(破損・傷つきの原因)
- ❗ 本体とドックを移動させるときは、両手でしっかり持って運んでください。本体は上部の圧力センサー、上部カバー、サイドブラシ N2、バンパー、丸形モップ クロス D で持ち上げないでください。ドックは、ベースステップ、清水と汚水タンクのハンドル、ゴミ収集用カバーで持ち上げないでください。(落下によるけが・床面の傷つき・本体の破損の原因)
- ❗ 火気、熱源、水気のない平らな床の上に本製品を設置してください。狭い場所に置いたり、吊りになるような場所に設置しないでください。(破損・傷つきの原因)
- ❗ 本製品を収納するときは、電源ケーブルを抜いてください。(破損の原因)
- ❗ ご使用の前に、各部品が所定の位置に取り付けられていることを確認してください。部品の詳細は P.7 をご確認ください。
- ❗ 本体を長期間使用せずに保管する場合、フル充電し電源を切って涼しく湿度のない環境に置いてください。バッテリーが過剰放電しないように、少なくとも 3 か月に 1 回は充電してください。(故障の原因)
- ❗ 本体がドックと互換性があることを確認してください。互換性がない場合はゴミ収集や充電などに失敗します。(故障の原因)

■ バッテリーと充電

⚠ 警告

- ⊗ 指定の製品以外を充電しないでください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)
- ⊗ 本製品を分解、修理、改造しないでください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)
- ⊗ 本製品を火気に近づけないでください。(火災の原因)
- ⊗ 充電端子を濡れた布や濡れた手で拭かないでください。(感電・火災の原因)
- ⊗ ドックを濡れた布で拭いたり濡れた手で触れたりしないでください。(感電・故障の原因)
- ⊗ 不用意にリセットによって、ドックの内部温度が安全水準を超えてしまう危険を防ぐため、ドックを電源関連のタイマーや、電源のオン / オフを定期的に行う電源回路へ接続する外部デバイスなどには接続しないでください。(発熱・発火・感電の原因)
- ❗ 電源電圧が、本製品に記載されている要件を満たしていることを確認してください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)
- ❗ 本製品の充電には、付属のドック（モデル：EWFD36LRR）または Roborock が指定するドックのみを使用してください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)
- ❗ 付属している電源ケーブルのみを使用してください。(破損・火災の原因)
- ❗ 本製品を収納するときは、電源ケーブルを抜いてください。(破損の原因)
- ❗ 電源コードが損傷した場合は、直ちに使用を止め、カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。(感電・発火の原因)
- ❗ バッテリーを取り外すときは、本体をドックから取り外し、電源をオフにしてください。バッテリーの取り出し手順は、P.17 をご覧ください。(液漏れ・発熱・発火・感電の原因)
- ❗ リチウムイオン電池が搭載されているため、本製品を廃棄するときは、お住まいの自治体を通して廃棄またはリサイクルしてください。(感電・発火の原因)
- ❗ 雷の影響を受けやすい場所や電圧の不安定な場所にドックを設置するときは、保護装置を装着してください。(感電・発火の原因)
- ❗ 本製品を輸送するときは、購入時の梱包状態のままの状態をおすすめします。電源を切り、本体の水タンク、ドックにある清水タンク、汚水タンクにある水を捨ててください。(故障の原因)

■ 内蔵無線LAN使用上のご注意

- 製品の無線回路を分解または改造すると、法律で罰せられることがあります。
- 以下の機器や無線局は、本製品に搭載されているものと同じ 2.4GHz 周波数帯の電波を利用しています。
 - a. 産業・科学・医療用機器（電子レンジ、無線 LAN 機器、防犯機器、心臓ペースメーカーなど）
 - b. 免許を要しない無線局（特定小電力無線局）
 - c. 免許を要する無線局（工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、アマチュア無線局）以上の機器や無線局の近くで製品を使用した場合、電波干渉が発生する場合があります。
- 心臓ペースメーカーなどの医療機器に影響が及んだ場合、すみやかに製品の電源をお切りください。
- 特定小電力無線局、構内無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合はカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

■ レーザーの安全性に関する情報

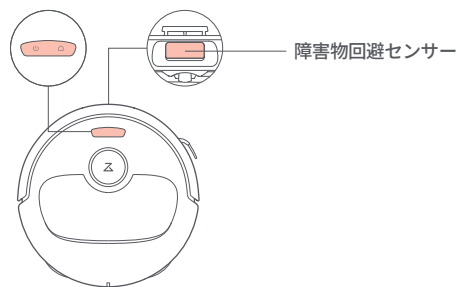
- 本製品のレーザー距離測定センサーは、IEC 60825-1:2014のクラス 1レーザー製品規格に準拠しており、危険なレーザー放射は行いません。

国際記号の説明

◇ - 室内でのみ使用可能です。水に濡らさないでください。

A 製品概要

A1 本体（表面）



電源/掃除

- 長押しすると、本体のオン/オフが切り替わります
- 押しすと、掃除を開始します

電源ランプ

- 白：バッテリー残量が15%以上
- 赤：バッテリー残量が15%未満
- 点滅：充電中または起動中
- 赤色に素早く点滅：エラー

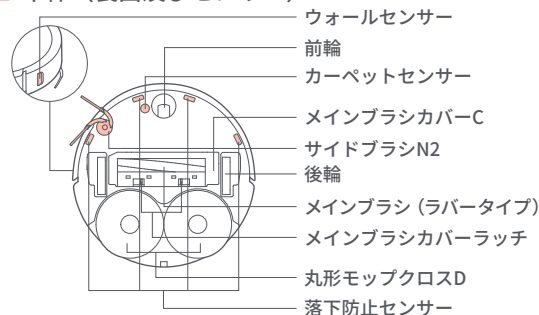


ドック

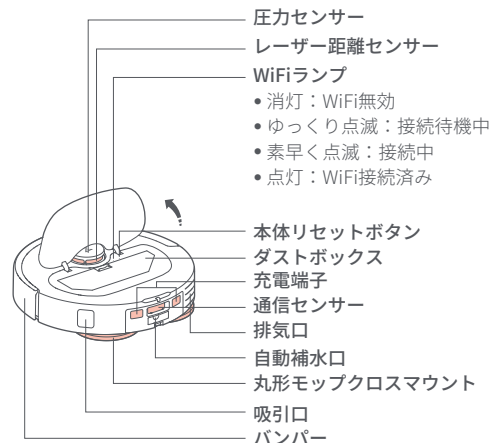
- 本体がドックに入っていないとき：押しと、ドックに戻る/長押しすると、スポット掃除を開始
- 本体がドックに入っているとき：押しと、ゴミ収集を開始/長押しすると、モップクロスを洗浄

注意：いずれかのボタンを押すと、本体は動作を一時停止します。

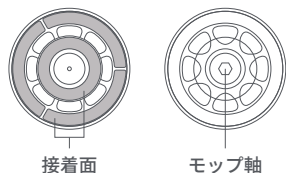
A2 本体（裏面及びセンサー）



A3 本体（上部カバーが開いた状態）



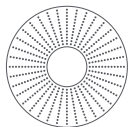
A4 丸形モップクロスマウント



接着面

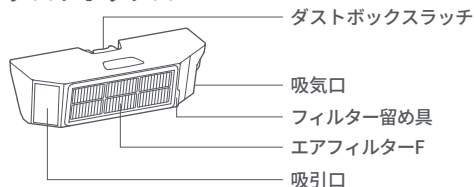
モップ軸

A5 丸形モップクロスD



注意：丸形モップクロスをモップクロスマウントの接着面に平らに貼り付けてください。

A6 ダストボックス



ダストボックスラッチ

吸気口

フィルター留め具

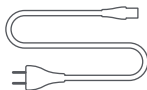
エアフィルターF

吸引口

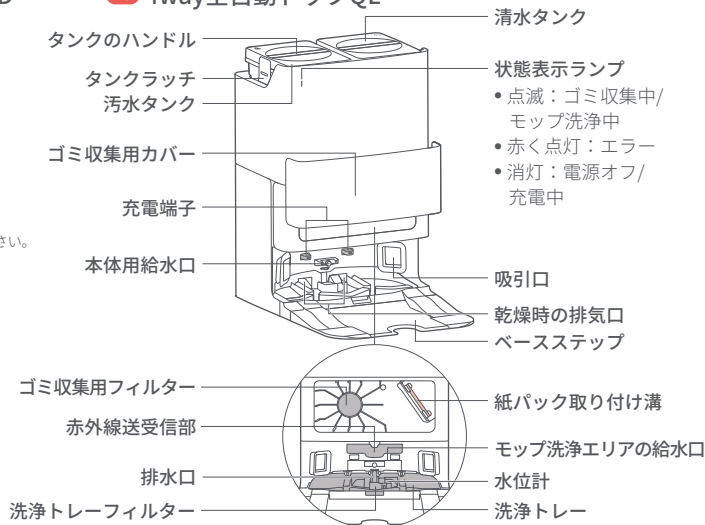
A7 ベースステップ



A8 電源ケーブル



A9 4way全自動ドックQL



清水タンク

状態表示ランプ

- 点滅：ゴミ収集中/
モップ洗浄中
- 赤く点灯：エラー
- 消灯：電源オフ/
充電中

タンクのハンドル

タンクラッチ
汚水タンク

ゴミ収信用カバー

充電端子

本体用給水口

吸引口

乾燥時の排気口

ベースステップ

ゴミ収信用フィルター

赤外線送受信部

排水口

洗浄トレーフィルター

紙バック取り付け溝

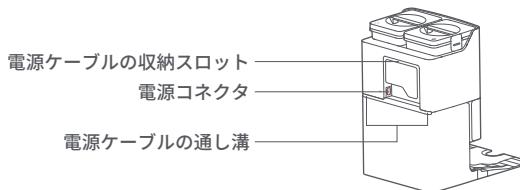
モップ洗浄エリアの給水口

水位計

洗浄トレー

注意：おやすみモードを設定するとランプを消したり、暗くすることができます。

A10 4way全自動ドックQL（背面）



電源ケーブルの収納スロット

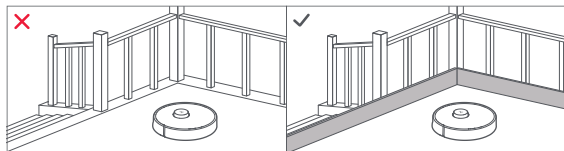
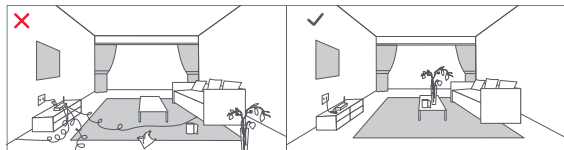
電源コネクタ

電源ケーブルの通し溝

注意：電源ケーブルは左右どちら側からでも出すことができます。

B 使用前の準備

重要



1. 本製品を使用する前に、貴重品、割れやすい物、ケーブルなどの掃除機の動作を妨げるもの、ビニール袋などの掃除機の吸入口に詰まる可能性のあるものを床から片づけてください。
2. 落下防止センサーが搭載されていますが、怪我や家具と本体の破損を防ぐため、高いところでご使用される際は、落下防止柵等を設置してください。

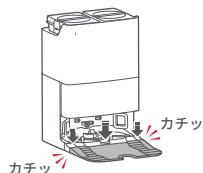
注意：

- 初めて使用するときは、障害物などに注意しながら本体の走行状況を確認してください。その後は、本体だけで掃除させることができます。
- 本体で初めて水拭きをする前に、床を少なくとも3回吸引掃除をしてください。

B1 ドックの組み立てと丸形モップクロス取り付け

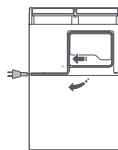
1. ベースステップの両側をしっかりと押さえ、中央接続部分をカチッと音がするまで押して、ベースステップを取り付けます。

注意：ドックを動かすときは、タンクが落下しないように固定してください。

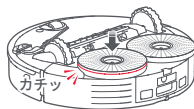


2. 電源ケーブルをドックの背面に接続し、余分なケーブルは収納スロットに収納します。

注意：電源ケーブルは左右どちら側からでも出すことができます。

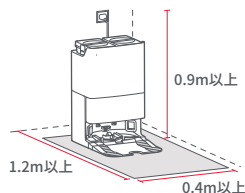


3. カチッという音がするまで、モップ軸を本体の所定の位置に合わせて取り付けます。



B2 ドック設置

組み立てが完了したドックを硬く平らな床（フローリング/タイル/コンクリートなど）に設置します。幅0.4m以上、高さ0.9m以上、奥行1.2m以上離してください。設置場所がWiFiルーターの近くなど電波の届きやすいエリアであることを確認して、コンセントにつないでください。状態表示ランプが点灯していることを確認してください。



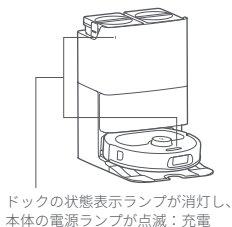
注意：

- 電源ケーブルが床に対して垂直に垂れ下がっている場合、本体に引っ掛けてドックが移動したり、電源がきれてしまうことがあります。電源ケーブルは収納スロットに収納してください。
- 状態表示ランプは、ドックの電源が入っている場合は点灯し、本体が充電中の場合は消灯します。
- エラーが発生すると、状態表示ランプは赤に変わります。
- 火、熱、水から離れた、平らな床の上にドックを設置してください。狭い場所に置いたり、本体が宙吊りになるような場所に設置することは避けてください。
- 柔らかい場所（カーペット / マット）にドックを置くと、ドックが傾き、本体がドックに戻るときやドックから離れたときに不具合が発生する可能性があります。
- 直射日光の当たる場所や、赤外線送受信部を遮る物がある場所にドックを置かないでください。そのような場所にドックを置くと、本体がドックに戻れなくなる可能性があります。
- 清水タンク、汚水タンク、ゴミ収集用カバー、ゴミ収集ドック用使い捨て紙バック、洗浄トレーが取り付けられていない状態でドックを使用しないでください。
- ドックのお手入れを行うときは、本書の記載に従ってください。濡れた手でのお手入れ、濡れた布やティッシュでドックの電源ケーブル、充電端子のお手入れをしないでください。
- 生産時の品質検査のため、水が残っている場合があります。異常ではありません。

B3 本体の電源を入れ、充電を行う

○ボタンを長押しすると、本体の電源が入ります。電源ランプが点灯してから、本体をドックの前に置きます。本体の○ボタンを押すと、自動でドックに戻ります。バッテリーの性能を維持するためには、通常の使用では本体を常に、充電したままにしてください。

注意：バッテリー残量が足りないときは、本体の電源を入れることができません。直接ドックに置いて充電させてください。



C アプリとの接続

C1 アプリのダウンロードをする

App StoreまたはGoogle Playで「Roborock」と検索するか、QRコードをスキャンしてアプリをダウンロードしてください。



C2 WiFiのリセットをする

- 上部カバーを開け、WiFiランプを確認します。
- 「WiFiをリセットします」という音声メッセージが聞こえるまで、○と□を同時に長押しします。WiFiランプがゆっくりと点滅したら、リセットは完了です。本体は、接続を待っています。

注意：WiFi ルーター関連の変更、パスワードを忘れた場合、スマートフォンが接続できなかったときは、WiFi をリセットしてからもう一度本体を追加してください。

C3 デバイスを追加する

Roborockアプリを開き、「デバイスを追加」または「+」ボタンをタップし、アプリに表示される案内に従ってデバイスを追加します。

注意：

- アップデートにより、アプリの画面や仕様が変更される場合があります。必ずアプリの案内に従って操作をしてください。
- この製品は、5GHzのWiFiネットワークには対応しておりません。2.4GHzのWiFiネットワークをご利用ください。
- WiFi ルーターのバンドステアリング機能により「G (g)」または「A (a)」が表示されずに接続できる場合もあります。詳細はお使いのWiFiルーターをご確認ください。
- 本体が30分以上待機状態が続くと、WiFiは自動的に無効となります。再接続する場合、接続する前にWiFiをリセットしてください。

D 操作方法

D1 オン/オフ

○ ボタンを押し続けると、本体の電源が入ります。電源ランプが点灯し、本体はスタンバイモードに切り替わります。

○ ボタンを押し続けると、電源が切れ、進行中の掃除が終了します。

注意：充電中は、本体の電源を切ることはできません。

D2 清水タンクの給水

清水タンクのハンドルを持ち上げ、清水タンクを外してから、蓋を開けて水道水を入れます。蓋を閉めてラッチをロックし、清水タンクをドックに戻します。

注意：

- 腐食や損傷を防ぐため、Roborock 指定外の洗剤、お湯、除菌剤を清水タンクに入れないでください。
- 洗剤を入れないでください。床が滑る可能性があります。
- 洗剤は別途購入が必要です。
- 洗剤なしでも水拭き掃除が可能です。
- 清水タンクに水垢が残っている場合は、柔らかい乾いた布でふき取ってから清水タンクを取り付けてください。



D3 掃除の開始

○ ボタンを押して、掃除を開始します。本体は掃除をしながら部屋をスキャンしてマップを生成し、そのマップに基づいて適切な掃除経路の計画を立てます。まず壁に沿って外周を掃除し、次に折り返し回数が最小になるようにZ字ルートで掃除します。

注意：

- 自動で掃除を行い、ドックに戻るためにはドックから掃除を開始してください。掃除を行っている際はドックを動かさないでください。
- バッテリー残量が極端に低下している場合は掃除を開始できません。充電してから掃除を再開してください。

- 掃除の前に、床にあるコード（ドックの電源コードなど）や大切なものを片付けてください。本体が散乱物を引きずると、電化製品が切断したり、コードや物が破損したりすることがあります。
- 10 分以内に掃除が完了した場合、そのエリアを 2 回掃除します。
- 掃除が完了する前にバッテリーがなくなった場合、本体は自動的にドックに戻って充電を開始します。充電が完了すると、中断したところから掃除を再開します。
- 本体は丸形モップクロススマウントを持ち上げて、カーペットを掃除します。アプリでカーペットを進入禁止エリアに設定すると、これを回避できます。
- 掃除を開始する前に、毎回丸形モップクロスが正しく取り付けられていることを確認してください。

D4 スポット掃除

○ を長押しすると、スポット掃除を開始します。

このモードでは、本体を中心とした1.5m 四方のエリアを掃除します。掃除後は、開始地点に戻りスタンバイモードになります。

注意：一時停止の状態ではスポット掃除を開始すると、進行中の掃除が終了します。

D5 一時停止

本体が動作している時に、いずれかのボタンを押すと一時停止し、○ を押すと掃除を再開します。本体が一時停止しているときに○ を押すと、本体はドックに戻ります。

注意：一時停止している本体を手動でドックに接続すると、進行中の掃除が終了します。

D6 スリープ

本体は10分以上動作しないと、スリープモードに入り、電源ランプがゆっくりと点滅します。いずれかのボタンを押すと、スリープモードは解除します。

注意：

- 充電中はスリープモードにはなりません。
- 12 時間以上スリープモードのままになっている場合、本体の電源は自動的にオフになります。

D7 おやすみモード

おやすみモードの初期設定時間は、22:00～08:00です。アプリからおやすみモードの無効と設定時間を変更することができます。お

やすみモードを設定すると、設定した時間内の自動充電後の掃除の再開や自動ゴミ収集、自動乾燥などを無効にすることができます。ランプを暗くしたり、音声の音量を下げる設定もできます。

D8 モップクロスの洗浄

本体は掃除中に、モップクロスの洗浄と水タンクの給水をするために自動でドックに戻るタイミングを判断します。手動で洗浄を開始するには、アプリの対応するボタンをタップします。本体のいずれかのボタンを押すと、モップクロスの洗浄は停止します。

注意：

- 自動でモップクロスを洗浄させるためには、ドックから掃除を開始させてください。掃除中はドックの移動をしないでください。
- モップクロスの洗浄頻度と洗浄モードはアプリから設定ができます。

D9 自動ゴミ収集

本体は掃除が終了するとドックに戻り、ゴミの自動収集を開始します。手動でゴミ収集を開始する場合は、ドックにある状態で、本体の○を押すか、アプリの「ゴミ収集開始」をタップしてください。ゴミ収集を停止する場合は、本体のいずれかのボタンを押します。

注意：

- 自動ゴミ収集を長期間動作させなかった場合は、本体のダストボックスのゴミ捨てを行い、吸気口のゴミを取り除くことで、最適な性能が発揮されます。
- 必要に応じて、アプリで自動ゴミ収集を無効にすることができます。
- 手動でのゴミ収集は頻繁に行わないでください。
- ゴミ収集用カバーまたはゴミ収集ドック用使い捨て紙パックが、取り付けられていない状態で使用しないでください。

D10 乾燥

掃除が完了した後やモップクロスの洗浄後、自動的にモップクロスを乾燥します。手動で乾燥を開始、または停止するには、アプリの「モップを乾燥」ボタンをタップします。

注意：

- 乾燥時間はアプリで変更できます。
- 自動乾燥はアプリで無効にすることができます。

D11 充電

自動：掃除後、本体は充電のため自動的にドックに戻ります。
手動：一時停止している状態で、○ボタンを押すと、本体はドックに戻ります。

本体が充電されると、電源ランプはゆっくり点滅します。

注意：ドックを見つけれない場合、本体は掃除を開始した地点に戻ります。本体を手動でドックに接続し充電してください。

D12 エラー

エラーが発生した場合、本体の電源ランプが点滅し、ドックの状態表示ランプが赤色に点灯します。アプリに通知が届き、音声案内に従って操作してください。

注意：

- エラーのまま未操作の状態が10分間続くと、本体は自動的にスリープモードに切り替わります。
- エラー状態のときに、ドックに接続されると、進行中の掃除が終了します。

D13 システムリセット

ボタンが反応しない、または本体の電源が切れない場合は、つまようじなどを用いて本体リセットボタンを押してリセットしてください。リセット後に本体が再起動します。

注意：

- リセットすることにより、タイマー、WiFi 及びその他関連設定もリセットされます。
- 本体リセットボタンの位置は、7ページを参照してください。

D14 工場出荷時の状態に戻す

システムリセットをしても改善しない場合は、本体の電源が入った状態で、○ボタンを長押ししながら、リセットボタンを1回押してください。ボタンを離さず「バージョンを復元しています。5分程かかります。しばらくお待ちください。」という音声案内が鳴るまでお待ちください。電源ランプの点滅がゆっくりしたら完了です。

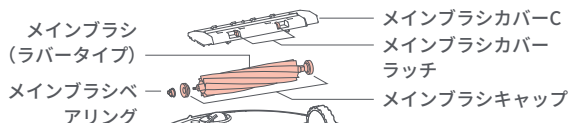
E お手入れ

注意：

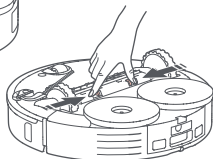
- お手入れする際は、ドックのコンセントを抜き、本体の電源をオフにしてから行ってください。
- 交換する頻度は実際の使用状況によって異なる場合がございます。アクセサリーの消耗が激しい場合は早めの交換をおすすめします。

E1 メインブラシ (ラバータイプ)

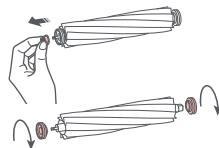
＊2週間に1回掃除し、6～12か月ごとに交換することをお勧めします。



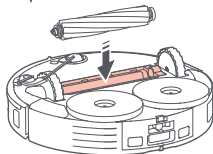
1. 本体を裏返してラッチを押し、メインブラシカバーを取り外します。



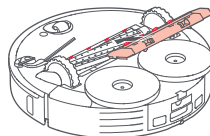
2. メインブラシを持ち上げて取り外し、ベアリングを引き抜きます。メインブラシキャップをロック解除方向に回し、キャップを取り外します。



3. メインブラシとベアリングに絡まっているものを取り除き、再度メインブラシを元の位置に取り付けます。



4. 本体の溝に合わせて、メインブラシカバーの凹凸をカチッと音が鳴るまで差し込みます。



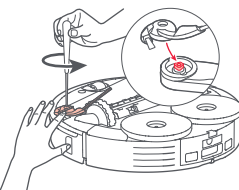
注意：

- 濡れた布を使用してメインブラシを拭いてください。直射日光に当てずに完全に乾かします。
- メインブラシを洗浄するために、洗剤や除菌洗剤は使用しないでください。

E2 サイドブラシN2

＊月に1回掃除し、3～6か月ごとに交換することをお勧めします。

本体を裏返し、サイドブラシのネジを外します。サイドブラシを取り外して掃除します。サイドブラシの中央にある穴を本体の凸部（図中の赤い箇所）に合わせて元の位置に取り付けてからネジを締めます。



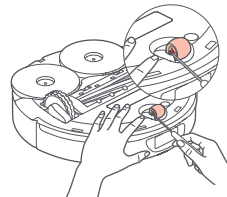
E3 前輪

＊必要に応じて掃除してください。

1. 本体を裏返します。
2. ドライバーなどを使用して、車輪を持ち上げて取り外します。



注意： プラケットは取り外すことができません。



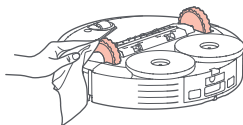
3. 車軸と車輪を水ですすいで、髪の毛や汚れを取り除きます。車軸と車輪を乾かし、ブラケットに押し込んで元通りに取り付けます。



E4 後輪

* 必要に応じて掃除してください。

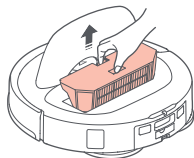
1. 本体を裏返します。
2. 後輪を柔らかい乾いた布を使用して拭いてください。



E5 ダストボックス

* 必要に応じて掃除してください。

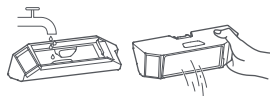
1. 本体の上部カバーを開け、ダストボックスのラッチを押して、ダストボックスを取り外します。



2. 矢印の方向にエアフィルターを取り外し、ゴミを捨てます。

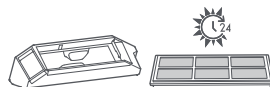


3. 水道水をダストボックスに入れて、エアフィルターを再度取り付けます。ダストボックスを軽く振って洗浄し、汚れた水を捨てます。



注意： 洗剤など使わずに水道水で洗ってください。

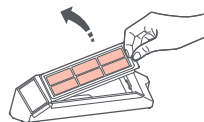
4. ダストボックスとエアフィルターは24時間以上を目安に完全に乾かしてから取り付けてください。



E6 エアフィルターF

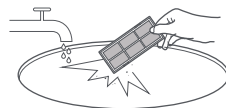
* 2週間に1回掃除し、6～12か月に1度交換してください。

1. エアフィルターを取り外します。



2. 取り外したエアフィルターを繰り返し水ですすいで、フレームを軽く叩いて汚れを落とします。

注意： エアフィルターが損傷する恐れがある為、ブラシなどで強くこすったり手で引っかかりたりしないでください。



3. エアフィルターを24時間以上を目安に、完全に乾かしてから取り付けてください。



E7 丸形モップクロスD

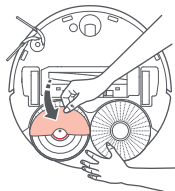
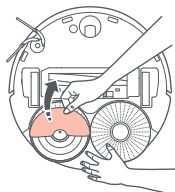
• 必要に応じて掃除し、1〜3か月に1度交換してください。

1. 丸形モップクロスを丸形モップクロスマウントから取り外します。
丸形モップクロスを洗浄し、乾かします。

注意：

- モップクロスはドックで、自動で洗浄・乾燥されますので、必要に応じて掃除してください。
- モップクロスがひどく汚れていると、水拭きの効果に影響することがあります。使用の度に洗ってください。

2. 元の位置にしっかりと取り付けてください。

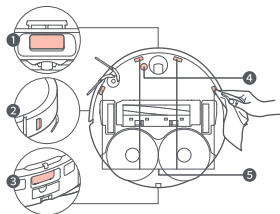


E8 本体のセンサー

• 必要に応じて掃除してください。

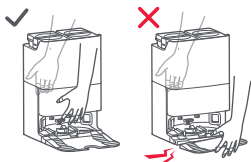
柔らかい乾いた布を使用して、以下のセンサーを拭き清掃します。

1. 障害物回避センサー
2. ウォールセンサー
3. 通信センサー
4. カーペットセンサー
5. 落下防止センサー



E9 ドックの移動

図のように、背面と前面を両手で持ち上げます。ベースステップ、各タンクのハンドルで持ち上げて運ぶことはできません。



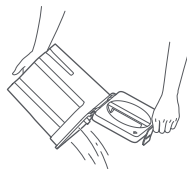
E10 汚水タンク

• 必要に応じて掃除してください。

汚水タンクの蓋を開けて汚水を捨てます。タンクにきれいな水を入れ、蓋を閉めてロックしてから振り。汚れた水を捨てます。蓋を閉めて再度取り付けてください。

注意：

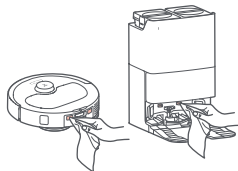
- 変形を防ぐため、冷たい水道水のみご使用ください。
- 汚水タンクに水垢が残っている場合は、きれいに拭き取ってから再度取り付けてください。



E11 充電端子

• 必要に応じて掃除してください。

本体とドックにある充電端子を柔らかい乾いた布を使用して拭きます。

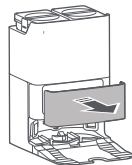


E12 ゴミ収集ドック用使い捨て紙パックCの交換方法

• 必要に応じて交換してください。

1. ゴミ収集ドック用カバーを右図のように取り外します。

注意：ゴミ収集ドック用カバーの落下を防止するため、必ず両手で取り外してください。



2. ゴミ収集ドック用紙パックを取り外して捨てます。

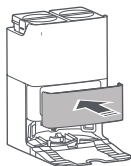
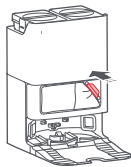
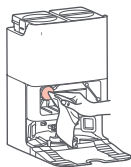
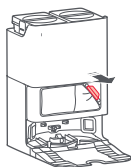
注意：

- ゴミ収集ドック用使い捨て紙パックのハンドルで紙パックを取り出すと、紙パックが密閉され漏れを防ぎます。
- ゴミ収集ドック用使い捨て紙パックやゴミ収集ドック用カバーを取り付けずに、自動ゴミ収集をしないでください。また、アプリで自動ゴミ収集を無効にすることもできます。

3. ゴミ収集用フィルターは乾いた布で掃除します。新しいゴミ収集ドック用使い捨て紙パックを取り付けます。

注意：ゴミが漏れてドックが損傷するのを防ぐために、ゴミ収集ドック用使い捨て紙パックが正しく取り付けられていることを確認してください。

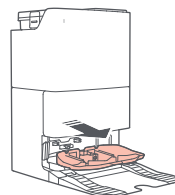
4. ゴミ収集ドック用カバーを元の位置に取り付けます。



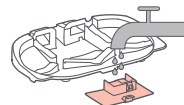
E13 洗浄トレー

* 必要に応じて掃除してください。

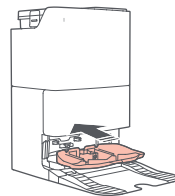
1. 洗浄トレーを取り外します。



2. 洗浄トレーと洗浄トレーフィルターを水ですすいでください。



3. 洗浄トレーを元の位置に取り付けます。



バッテリーの取り外し

本製品を廃棄する際は、バッテリーを取り出してください。
取り出したバッテリーは、貴重な資源を守るために、充電式電池リサイクル協力店へお持ちいただくか、お住まいの自治体を通じてリサイクルいただけますようお願いいたします。
または、サポートセンターまでお問い合わせください。

バッテリーの取り出し方

・バッテリーの取り出しは、本製品を廃棄する場合のみ行ってください。

1. 本体の電源を切ります。

注意：

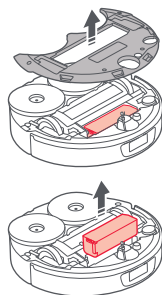
- ・バッテリーを取り出す前に、電池が完全に消耗していることを確認してください。
- ・本体がドックに接続されている場合は、バッテリーを取り出さないでください。

2. バッテリーカバーのネジを外し、カバーを取り外します。

3. バックルを押してバッテリーのコネクタープラグを引き抜き、バッテリーを取り出します。

注意：

- ・バッテリーパック全体を取り出してください。
- ・電池のショートや液漏れを防ぐために、バッテリーパックを傷つけないでください。
- ・電池が液漏れて目に入ったときは、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い、直ちに医師の治療を受けてください。



基本仕様

本体

モデル	RRE0PEE
製品型番	QRL02-04
サイズ	幅:350×奥行:353.8×高さ:96.6mm
重量	約 3.71kg
バッテリー	14.4 V/5200 mAh（公称容量）リチウムイオン電池
ネットワーク接続	WiFi
定格入力	20VDC 1A

注意：シリアル番号は、本体の裏面とダストボックスを取り外した底面に記載されています。

4way全自動ドックQL

モデル	EWFD36LRR
サイズ	幅:340×奥行:486.5×高さ:521.6mm
重量	約 7.35kg
定格入力電圧	100VAC
定格周波数	50-60Hz
定格入力（ゴミ収集時）	4.5A
定格入力（ゴミ収集以外の動作時）	0.5A
定格出力	20VDC 1A

注意：シリアル番号は、ドックの背面に記載されています。

WiFi

プロトコル	802.11b/g/n
周波数帯	2.4 GHz

よくあるご質問

問題	解決策
電源が入らない	- バッテリー残量が低下しています。ご使用前にドックに本体を戻して充電してください。 - バッテリーの温度が高すぎるか低すぎます。本体は4℃～40℃の範囲で使用してください。
充電できない	- ドックが通電していない可能性があります。電源ケーブルが正しく差し込まれているか、充電ランプが点灯しているか確認してください。 - 接続不良の可能性があります。ドックと本体の充電端子を掃除してください。 - 状態表示ランプがオンになっていることを確認してください。
充電速度が遅い	- 本体を高温または低温環境で使用すると、バッテリー寿命を延ばすために本体の充電速度が自動的に低下します。 - 充電端子が汚れている可能性があります。汚れている部分を乾いた布で拭いてください。
ドックに戻らない	- ドックの近くに障害物がある可能性があります。障害物を取り除くか、開けた場所にドックを移動させてください。 - 本体がドックから離れすぎています。本体をドックの近くに置いてください。
異常な動作をする	本体を再起動してください。
掃除中のノイズ	メインブラシ、サイドブラシ、前輪または後輪に異物が絡まっていると、ノイズが発生することがあります。電源を切って掃除してください。
WiFiに接続できない	- WiFiが無効です。WiFiをリセットして、再度試してください。 - WiFiの電波が弱いです。WiFiの電波が届きやすい場所に本体を移動させてください。 - WiFi接続に異常があります。WiFiをリセットし、最新バージョンのアプリをダウンロードして再試行してください。 - 本製品は5GHzのWiFiネットワークに対応しておりません。2.4GHzのWiFiネットワークに接続してください。

問題	解決策
本体をドックに接続した状態でも、バッテリーはごく少量ですが使用されます。充電し続けることにより、最適なバッテリー性能が維持されますか？	本体がドックに接続されている状態でも、バッテリーはごく少量ですが使用されます。充電し続けることにより、最適なバッテリー性能が維持されます。
初めての使用時から3回目までの充電は16時間以上する必要があるですか？	いいえ、満充電後はいつでも使用することができます。
充電後に掃除が再開されない	- おやすみモードになっていないか確認してください。おやすみモードに設定した時間内は自動充電後の掃除の再開は行われません。 - 手動で本体をドックに接続したり、ボタンを押してドックに戻した場合、掃除は再開できません。
掃除予約を実行しない	バッテリー残量が低下しています。掃除予約はバッテリー残量が15%を超えている場合のみ有効です。
掃除しない箇所があった	ウォールセンサー、落下防止センサー、あるいはカーペットセンサーが汚れている可能性があります。柔らかい乾いた布で拭いてきれいにしてください。
吸引力が低下した。または、吸い込んだ埃が落ちる	- ダストボックスがいっぱいの可能性があります。ゴミを捨ててください。 - エアフィルターが詰まっている可能性があります。エアフィルターを掃除してください。 - メインブラシに異物が絡まっている可能性があります。絡まっているものを取り除いてください。
水拭き中に水がほとんどまたは全く出ない	アプリから水量と水拭き強度の設定を行ってください。
本体を手で移動させた後、ドックに戻ることができない	大幅な位置変更の後、本体はマップを再生成します。ドックが遠くにある場合、本体は充電の為に自動的に戻れないことがあります。本体を手動でドックの近くに置いてください。

問題	解決策
ドックの状態表示ランプが赤色に点灯している	- 電圧エラーです。電圧が、ドックに記載されている要件を満たしていることを確認してください。 - 清水タンクが正しく取り付けられているか確認し、必要に応じて水を追加してください。 - 汚水タンクが正しく取り付けられているか確認し、必要に応じて汚水を捨ててください。 - 洗浄トレーモジュールまたは洗浄トレーフィルターが取り付けられていないか、正しく取り付けられていません。
ゴミ収集時にゴミ収集機能が低下している、または異常な音がる	- メインブラシまたはメインブラシカバーが正しく取り付けられていません。確認して所定の位置に取り付けてください。 - フィルターやエアダクト、吸引口、吸気口、ダストボックス、ゴミ収集ドック用使い捨て紙バックのいずれかが詰まっています。清掃して詰まりを除去してください。
モップクロスの洗浄力の低下	- 丸形モップクロスが正しく取り付けられていません。モップクロスをマウントの所定の位置に平らに貼り付けてください。 - アプリよりモップ洗浄モードを「強力」に設定すると、よりきれいにモップクロスの汚れを落とすことができます。
自動乾燥が開始されない	- 自動乾燥機能がオフになっています。アプリからオンに設定してください。自動乾燥機能は、水拭き掃除後またはモップクロス洗浄後のみ作動します。 - 乾燥中にドックから本体を動かさないでください。自動乾燥が止まってしまいます。 - 湿度の高い環境で使用する場合は、アプリから乾燥する時間を長く設定してください。

問題	解決策
自動でゴミが収集されない	- 自動ゴミ収集が無効になっています。アプリの設定を確認してください。 - ゴミ収集用カバーが取り付けられていません。確認して取り付けてください。 - 本体が掃除を行わないと自動ゴミ収集は開始しません。 - おやすみモードで本体がドックへ戻ると、自動ゴミ収集は起動しません。掃除またはおやすみモードの時間を調整するか、ゴミ収集機能を手動で開始してください。 - 手動で本体をドックに戻すと自動でゴミ収集されません。手動でゴミ収集を開始してください。
丸形モップクロスが洗浄されない	- 水拭き掃除を行わないとモップクロスの洗浄は開始されません。水拭き掃除を行ってください。 - 本体をドックから起動して掃除を行うか、アプリ上にドックが表示されているかどうか確認し、再度掃除を行ってください。 - 清水タンク、汚水タンクの取り付け位置を確認してください。必要に応じて清水タンクに水を追加するか汚水を捨ててください。 - 洗浄トレーまたは洗浄トレーフィルターが正しく取り付けられているか確認してください。

お問い合わせ先と保証情報

●お問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記までお問い合わせください。

お問い合わせの際は、ご使用の環境や症状をできる限り具体的にお知らせください。

Roborock カスタマーサポートセンター

TEL: 0120-992-878

Eメール: support@roborock.jp

(営業時間: 10:00~17:00※土日祝除く)

●修理・交換

製品の修理・交換を希望される際は、あらかじめ上記カスタマーサポートセンターにご連絡ください。

- ご購入後1年の保証期間中に、取扱説明書や製品ラベル、製品に記載された使用方法や注意事項に従って正常に使用した結果、発生した製品の不良につきましては、無償にて、修理・交換をいたします。
- 修理中の代替機のお貸し出しはしていません。

●初期不良について

- 初期不良における交換期間は、ご購入日より15日間となります。
- 初期不良があった場合は、製品の状態についてカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- カスタマーサポートセンターにて初期不良と判断した場合は、保証書および製品一式（アクセサリ類、外箱含む）を揃えて、ご購入店舗にお持ちください。新品交換にて対応いたします。

※詳細は、保証規定のページをご確認ください。

保証書

モデル：RRE0PEE

シリアル番号：

本体のシリアル番号をご記入ください。(Rから始まる14桁の番号)
シリアル番号は、本体の裏面とダストボックスを取り外した底面に記載されています。

ご氏名：

保証期間：ご購入年月日より1年間

ご購入日をご記入いただいていない場合、レシートなどの購入履歴でご購入日を算出し、保証期間を設定します。

法人名：

ご住所：

TEL：

販売店名：

ご購入日： 年 月 日

この度はRoborock Qrevo Lをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本保証書はご購入日から上記保証期間中に故障が発生した場合、保証規定に基づき無償交換・修理を行うことをお約束するものです。詳細は保証規定をご確認ください。交換・修理の際は、記載事項が記された保証書をご提示ください。または、購入店舗が発行したレシートや購入が証明ができる書面と保証書をご提示してください。保証書は再発行しませんので大切に保管してください。また、交換・修理対応は日本国内に限ります。

保証規定

1. 保証規定の内容

この保証規定は、取扱説明書や製品ラベル、製品に記載された使用方法や注意事項に従って正常な使用、またそれらに記載された条件下での使用のもとで本保証書記載の保証期間中に故障が発生した場合、本規定に基づきRoborockカスタマーサポートセンターが無償交換・修理を行うことをお約束するものです。また、本規定は本保証書が添付されているRoborock Qrevo Lに対してお客様が期待される性能や成果、運用上の結果を保証するものではありません。

2. 保証書の効力

この保証書は、本書に記載された保証規定の条件および期間に基づいて、本保証書が添付されたRoborock Qrevo Lの無償交換・修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

3. 保証の対象

この保証規定による無償交換・修理の対象となるのはRoborock Qrevo Lの本体、ドックに限ります。アクセサリ類は保証の対象外となりますので、ご了承ください。

4. お客様の負担

この保証規定による無償交換・修理を受けられる場合は、あらかじめRoborockカスタマーサポートセンターにご連絡ください。保証対象期間を過ぎての有償修理または、お客様の誤った使用に起因する故障の修理を受けられる場合は、送料などの諸費用はお客様ご自身のご負担になりますのでご了承くださいますようお願い申し上げます。

5. 保証期間

製品ご購入日より起算した保証書記載の期間とします。ご購入日の記入がない場合は、レシートなどの購入履歴でご購入日を算出し、その日を基準に保証期間を設定いたします。

6. 個人情報の取り扱い

お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の保証サービス対応およびその後の安全点検活動のために利用させて頂く場合があります。また、修理のために、弊社から修理委託している保守会社等に必要情報を預託する場合がありますが、個人情報保護法および弊社と同様の個人情報保護規程を遵守させていただきますので、ご了承ください。

7. 保証を受けられない場合

保証期間内であっても以下に該当する場合は有償修理とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

- 1) 本保証書のご提示がない場合。
- 2) 本保証書記載の字句及び本保証書の他の字句が書き換えられている場合。
- 3) 台風、水害、地震、落雷などの自然災害及びその二次災害、火災、公害や異常電圧による、破損や故障、紛失があった場合。

4) 取扱説明書や製品ラベル、製品に記載された使用方法または注意事項に反するお取り扱いがあった場合。

5) Beijing Roborock Technology Co., Ltd. 以外の第三者またはお客様ご自身による改造、またはご使用の責任に帰すると認められる破損や故障があった場合。

6) お買い上げ後の輸送、移動時、持ち運び時の落下や衝撃、悪条件下での放置など、お取り扱いが不適切なため生じた故障や破損、紛失があった場合。

7) ケーブルなど本体以外の付属品の故障や破損、消耗品の補充や仕様によって消耗、摩耗する部品の交換を行う場合。

8) 本製品を正規の販売店以外から購入された場合。（フリマサイト、フリマアプリ等の個人間売買サイト等での購入または譲受も含まれます）

9) その他、Roborockカスタマーサポートセンターの判断に基づき有償と判断した場合。

8. 有償修理を受けられない場合

以下に該当する場合は有償修理を受けられませんので、あらかじめご了承ください。

1) 本製品を日本以外の国で購入した場合。

2) 本製品を日本国外にて使用した場合。

9. SB C&S株式会社の免責

本保証書が添付されたRoborock Qrevo Lの故障によって、またはご使用の結果生じた直接、間接の損害については、SB C&S株式会社はその責を一切負わないものとします。

10. 初期不良について

初期不良における交換期間は、ご購入日より15日間となります。初期不良があった場合は、製品の状態についてRoborockカスタマーサポートセンターまでご連絡ください。カスタマーサポートにて初期不良と判断した場合は、保証書および製品一式（アクセサリ類、外箱含む）を揃えて、ご購入店舗にお持ちください。新品交換にて対応いたします。

11. 保証規定の変更

弊社は、お客様への事前の通知およびその承諾なしに本保証規定の内容を変更できるものとします。この場合、保証の提供条件は変更後の保証内容によるものとします。

なお、変更後の保証規定については、弊社のWebサイト等により通知するものとし、通知によりお客様は同意したものとみなします。

Roborock Qrevo L ロボット掃除機 取扱説明書

モデル：RRE0PEE

製造元：Beijing Roborock Technology Co., Ltd.

製造元の住所：Room 1001, Floor 10, Building 3, Yard 17,
Anju Road, Changping District, Beijing, P.R. China

製品の詳細については、弊社の Web サイト：www.roborock.jp をご覧ください。

販売後のサポートについては、Roborock カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

